

令和7年度新宿区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名: 柏木子ども園

施設所在地: 新宿区北新宿2丁目3番7号

1-1 活動テーマ

保育と自然をつなぐ環境構成や保育の援助について

1-2 テーマ設定理由

園舎内の自然環境は限られているので、散歩先に範囲を広げ、自然物を採取、観察したり、活動に生かしたりする視点を学び、子どもたちが主体的に関っていくことができるようにする。

2-1 活動スケジュール

◎第1回 令和7年5月

講師研修「なぜ今自然体験が必要なのか」

◎第2回 令和7年5月

散歩同行（対象:5歳児クラス15名）

講師研修(振り返り・エピソードの共有・
子どもとのかかわりの視点)

◎第3回 令和7年11月

散歩同行（対象:5歳児クラス14名）

講師研修(振り返り・今後の展開検討)

◎第4回 令和8年2月

講師研修「1年間の振り返り・まとめ」

◎令和7年9月～令和8年2月

各クラス自然物を取り入れた保育のドキュメンテーションを発信し、クラスごとに振り返りをし、フィードバックを受ける。



3-1 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

○散歩や戸外活動で使用したもの

ビニール袋・透明カップ・色水用すり鉢
計量カップ・砂場用玩具等

○室内での探求活動で使用したもの

自然に関する図鑑や絵本・飼育ケース
顕微鏡・虫眼鏡等

4-1 探究活動の実践 活動の内容

○講師同行による散歩

散歩に出掛け、子どもの気付きに応じていく。又、講師や保育者が自然への関わりの視点を知らせていき、友達同士の関りや、気付きの共有を行っていった。今後の保育に生かす方法を考えていく。

○実践した内容

- ・夢中になって、自然物を探す。
- ・採集したものを並べて、発見した子どもが自分の気付きを他児に伝えていく。
- ・ダンゴムシ、アゲハの幼虫を採集→園で飼育する。図鑑や絵本で調べる。顕微鏡、虫眼鏡で観察する。
- ・花や実をつぶして変化を見たり、ジュース作りや自然物を使った制作等を行い、保育の中で継続して楽しんでいく。

4-2 活動中の子供の声、子供同士や保育者の関わり

自然というテーマを持って散歩に出掛けることを伝えると、期待を膨らませ、探したいものや調べたいものを保育者に伝えてきたり、子ども同士相談したりしていた。講師同行の散歩当日は自然に関するいろいろな視点を具体的に教えてもらい、匂いや手触りなど五感で感じ、気付いたこと感じたことを素直に言葉にしていた。保育の中での振り返りの時間は自分の思いを伝えると共に友達の見解に耳を傾け、講師や保育者の働きかけにより、今後の活動でどのように探求していくかを考える場になった。



5-1 振り返り 振り返りによって得た先生の気付き

- ・じっくり遊んだことがイメージを膨らませ皆で共有し遊びが広がることにつながる。又、次の遊びにつながり発展していく。
 - ・保育者が意識することにより一層戸外や自然物への興味が増した。
 - ・乳児クラスは初めて触れて見みるきっかけを作り、子どもの反応に共感し繰り返し触れる機会を作り、無理強いせず待つことで自然に触れて遊ぶようになった。
 - ・身近な自然に触れながら、子どもが心を動かされた瞬間をとらえていくことができた。
 - ・ドキュメンテーションを作成したことで、保護者にすくわくプログラムについて理解を深めてもらうと共に、他クラスの活動について共有できた。
- ・子どもにとって自分はこうだったが、他の子はどうだったのだろう、どんなことをしていたのか、どんなことが楽しかったのか振り返ることで自分の言葉で表現する機会となった。

